

平成30年度ホタテガイ採苗情報（第4報）

平成30年5月17日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



県中部から南部ではラーバ・付着は少数。
 野田、広田では稚貝の付着増加。

< 調査結果の概要 >

- 5/16の唐丹湾の水深10m層の水温は9.8℃で、昨年同時期（5/17、10.4℃）より0.6℃低めです。透明度は19mでした。
- 唐丹湾では、小型ラーバ（殻長200μm未満）が6個/トン、付着稚貝は6個/袋、出現しました。
- 付着稚貝は、広田地区で出現している他、野田湾で増加しました。

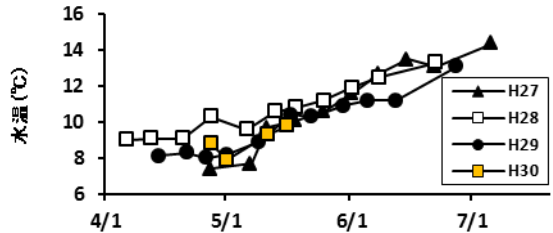
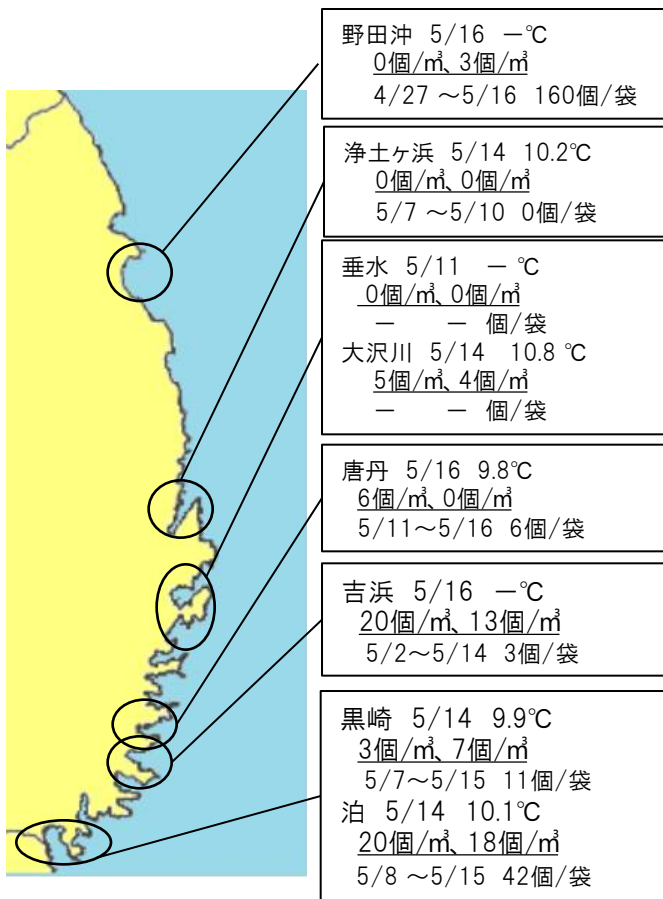


図2 唐丹湾における水深10m層の水温

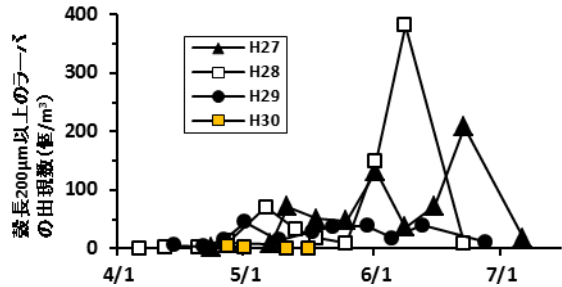


図3 唐丹湾における殻長200μm以上のホタテガイラーバ出現数

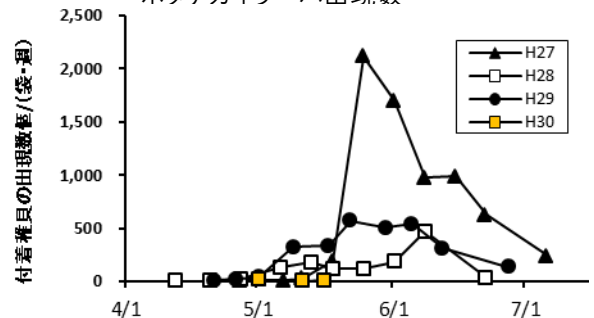


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数

調査点 調査日 水深10m層水温
 ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月24日に発行する予定です。